

若いけど！

Vol. 14 / 2017年02月01日発行

おばちゃん通信



平成28年第4回定例会の内容を、教育福祉常任委員会の内容中心に報告致します。

☆（仮称）中央こども園整備事業補正予算について（以下、“仮称”は省略します）



公立保育園再編実施計画に基づき、中央こども園の整備が進められています。合同庁舎跡地の国有地での整備を予定していたところ、国の土地評価額と市の財産評価委員会の結果が折り合わず、取得困難となり、平成28年第一回定例会で減額補正されました。その後の交渉の結果、市は整備予定地を「定期借地」で借りる計画を立てました。今回の定例会では中央こども園園舎設計者選定のための委員会開催に必要な経費が計上されました。また、平成29年度以降に行われる建築設計工事の設計業務や工事監理料の上限額を提示するための債務負担行為の補正が

あげられました。つまり、今回の補正予算案に賛成すると、中央こども園を合同庁舎の跡地に30年の定期借地で建てるという計画にGOサインを出すことになります。

予定では平成30年度に再度不動産鑑定が行われます。現段階ではいくらで土地が借りられるのかわからない状況で、補正予算案の賛否を問われました。

無所属みらいとしては、今までの経緯や、定期借地料が定まっていない状況から、補正予算案の原案に賛成することはできませんでした。そうした意見は他の会派からもあり、議案第97号横須賀市一般会計補正予算案は、中央こども園整備に関する補正予算の部分を削り、修正したものの賛否を問うことになりました。結果、修正案に賛成21名、反対18名（議長は除く）となり、修正案が可決されました。中央こども園整備予定地を新たに見つける必要性が出てきたため、今後の整備や開園スケジュールは未定となっています。

☆一般報告の内容～施設配置適正化関連～

産業交流プラザとヴェルクよこすかの貸室部分を総合福祉会館に集約し、産業交流プラザの貸室部分にデュオよこすか（現・総合福祉会館5階）と市民活動サポートセンターを移転する計画素案が出されています。

市民意見交換会を行ったところ、市民活動サポートセンターを、現在の1階から3階に移転することによって多くの反対意見があげられました。サポートセンターは高齢者や障がい者の利用も多く、移転してしまうと、エレベーターでの移動になり、それは厳しいとの声があがっています。また、今後横須賀市が市民活動をどう支援していくのか、などの意見も寄せられました。こうした意見をふまえ、施設配置適正化実施計画（素案）の内容は引き続き検討されることになりました。

☆一般質問報告☆

①性暴力・性犯罪被害者支援について

「魂の殺人」とも言われる性犯罪。性犯罪は、刑法第177条の強姦、同176条の強制わいせつに規定された罪を犯した場合犯罪になります。しかし、性犯罪は警察に届けられないことも多く、法務総合研究所によると、性的事件の申告率は13.3%だそうです。そこで、性犯罪の被害者だけでなく、性を手段とした暴力である性暴力の被害者の支援が必要です。

問：本市における性暴力、性犯罪の実態や件数は把握しているか。

答（市長）：警察からの情報で、その実態としては、強姦、強制わいせつで、平成26年、33件、平成27年度が23件、今年度は平成28年10月末現在で23件となっている。

問：性暴力被害者支援者研修を導入し、支援者の養成を行ってはいかがか。

答（市長）：女性のための相談室を設ける人権・男女共同参画課職員の支援スキル向上のため、研修は必要である。被害者支援に携わる者への研修は県が実施をしているが、これまで市職員の派遣は行っていなかった。今後は対応窓口において支援の質を高めるためにも、市職員を派遣していく。

②子どもの貧困対策

2012年、日本の子どもの6人に一人が貧困状態にあるとの推計が出されました。本市でも経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助を行っています。市内では、平成27年度末で平均して22%の子どもが受給していて、中には就学援助受給世帯が44%の中学校もあります。

問：子どもの貧困対策には教育と福祉の連携が欠かせないと思う。スクールソーシャルワーカーにその役割を期待するが、今年度増員の効果と今後の拡充の予定はいかがか。

答（教育長）：個々のケースに対応する時間がふえ、学校のニーズに迅速に対応したりするなど、充実した支援ができています。また、今年度は各スクールソーシャルワーカーが担当する学校に定期的に訪問するなど、早期的な支援に結びつけることができています。今後の拡充については、今年度の状況を踏まえ、検討していきたいと考えています。

☆おばちゃんレポート☆

【社会福祉法人 横浜愛育会】



先日横浜愛育会さんへ見学に伺いました。横浜市大石駅周辺で障がい者地域作業所、就労支援 B 型通所施設、障がいのあるメンバーが働く喫茶店やパン屋の運営、グループホーム・ケアホームなどを展開しています。それらが徒歩圏内にあり、地域に根差していることが伺えました。愛育会の松尾理事長は大石を「障がい者が輝く街」だと評しています。

おばたさおりプロフィール

1985年10月3日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。児童養護施設や市内小学校でのボランティアも経験。

2015年横須賀市議会議員選挙にて5625票を得て、当選。会派：無所属みらい

<ご意見、ご相談、ご質問など、皆様からのお声をお待ちしています！>

移動事務所：080-1161-4031またはinfo@obatasaoiri.com

ブログも更新中です！「おばたさおり」で検索してみてください。